



内閣府認証 NPO 法人 アジア・アパレルものづくりネットワーク (略称: AAP)

6月8日

第43回例会 セミナー、アパレル業界東京交流会を開催しました。

内閣府認証 NPO 法人 アジア・アパレルものづくりネットワークは、この6月8日、メルパルク東京において第43回例会セミナー・アパレル業界東京交流会を開催しました。

会のはじめに、岩井一男理事より技能実習生対象職種に仕上げプレス加工を追加する件で、会員の皆様に賛同を求める文書のお願いをさせていただきました。

セミナーでは、今年度から特別協賛会員としてご入会された株式会社アベイル小谷理実社長様より、『3D ソリューションの「ブラウズウェア」及び業務管理ソフトについて』と題して、ご講演していただきました。試作段階のパターンを体型に合わせて3D画面上のモデルに着せて、その装着感をチェックでき、サンプル制作が不要となる画期的なシステムです。アパレル生産関連ソフトではオンリーワン企業の存在となってきた、熱弁をふるってわかり易く的確にお話しいただいたことは大変、有意義な内容で好評でした。



また、アパレル業界東京交流会では、参加者の近況報告を行いました。アジア各地からの報告では、ベトナムの工場が税務調査を受け、数千万円の支払い要求がきて、これを粘り強く交渉して数百万円に減額させてこと。バングラデシュの工場では、来料加工貿易から進料加工貿易に貿易形態の変更を当局から指示されて混乱している生々しい実態の報告。



テキスタイルメーカーからは、ウール原料の高騰で大変困っていること、北陸産地では4月から加工賃がM20円程上昇したが、生地単価を上げることが出来ず、苦慮していること、いずれも現地の生々しい情報でした。

また、この2月開催した展示会で出したサンプルの注文がきたこと、やはり効果はあったとの報告もありました。中国からアジア、フィリピンへの進出に絡んだ話もありました。

2018年6月8日

内閣府認証 NPO 法人 アジア・アパレルものづくりネットワーク